

## 東大7部局連携・女子中高生イベントを開催します

横山 広美 (広報・科学コミュニケーション 准教授)

「私たちと一緒に将来の夢を見つけませんか?」この言葉をキャッチフレーズに、東大7部局(工学系研究科, 数理科学研究科, 海洋研究所, 宇宙線研究所, 地震研究所, 数物連携宇宙研究機構, 理学系研究科)が連携した女子中高生の理系進路支援シンポジウムを2009年12月13日(日)13時(開場12時)より、安田講堂で開催します。定員700名、対象は女子中高生、保護者、中学・高校の教員で、参加費は無料です。本シンポジウムは平成21年度科学技術振興機構(JST)「女子中高生の理系進路選択支援事業」(代表・横山広美)に採択され、各部局がそれぞれに女子中高生向けに行ったイベントの総括として行うものです。

最近の女子中高生は理系進学にも積極的です。しかし理系に進学した女性の活躍をあまりご存じない保護者の方や、中学・高校の教員の方の心配が先立ち、理系進学をあきらめるケースも少なくありません。そこで私たちは、女子生徒が保護者とともに参加し研究の現場を見るイベントを企画、理学系研究科では男女共同参画委員会、広報委員会の共催で開催してきました。

当日はさまざまな現場で活躍する女性研究者や女子学生とともに理系進学の魅力をお伝えします。出身地や出身大学、年代もさまざまな先輩方に親しみをもっていただけたらと期待しています。パネルディスカッションでは、女子生徒や保護者の方の不安や疑問に十分にお答えし、議論します。

### 当日の講演者

- 窪川 かおる (海洋研究所 教授)
- 大島 まり (男女共同参画室室長/情報学環 / 生産技術研究所 教授)
- 永原 裕子 (地球惑星科学専攻 教授)
- 岩間真理絵 (燃料油・プロセスグループ シニアスタッフ)
- 黒木 真理 (総合研究博物館 助教)
- 塚田 苑子 (工学部精密工学科4年生)
- 大木 聖子 (地震研究所 助教)

詳しくは以下のURLをご覧ください。  
事前申し込みが必要です(12月6日〆切)。

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/event/girls/>

## 東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(※)は原著が英文(和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
<b>2009年9月17日付学位授与者 (4名)</b>			
論文	物理	山内 徹	擬一次元バナジウム酸化物の高圧下物性の研究 - $\beta$ -バナジウムブロンズに於ける電荷秩序, 超伝導, 及びその関連現象- (※)
論文	天文	杉本 正宏	アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計のための光学デザインと解析および評価に関する研究 (※)
課程	地惑	多田 洋平	現場殻成長実験に基づく冷湧水二枚貝シロウリガイの生活史特性 (※)
課程	生科	杉本久賀子	沿岸域での細胞外酸性多糖類を媒介にした凝集体の細菌群集による生成促進と動態 (※)
<b>2009年9月30日付学位授与者 (3名)</b>			
課程	物理	奥村 暁	フェルミ大面積望遠鏡を用いたオリオン分子雲のガンマ線による観測 (※)
課程	天文	田中 雅臣	超新星爆発の三次元構造 (※)
課程	化学	鈴木 秀幸	活性化マクロファージの高選択的ターゲティングを実現する方法及び細胞膜における過酸化水素の時空間動態を可視化する方法 (※)

## 人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2009.9.30	物理	助教	柳瀬 陽一	辞職	新潟大学教育研究院准教授へ
2009.10.1	生科	技術職員	山崎百合香	採用	
2009.10.1	学生支援室	助教	榎本真理子	採用	特任助教から
2009.10.1	学生支援室	助教	藤原 祥子	採用	特任助教から
2009.10.1	国際交流部門	特任専門職員	添田 幸子	採用	
2009.10.1	国際交流部門	特任専門職員	川村 真理	採用	
2009.10.16	化学	准教授	山野井慶徳	昇任	助教から
2009.10.16	生化	講師	小島 大輔	昇任	助教から
2009.10.31	物理	助教	小嶋 健児	辞職	高エネルギー加速器研究機構物質科学研究所准教授へ
2009.11.1	物理	准教授	横山 将志	採用	京都大学大学院理学研究科助教から
2009.11.1	生化	助教	吉種 光	採用	

## 理学部ガイダンスカフェ@駒場を開催します

教務委員長 茅根 創 (地球惑星科学専攻 教授)

これまで別々に行っていた、1年生向けガイダンスとサイエンスカフェ@駒場を、今年と同じ日に行います。

理学部ガイダンスをはさむ16時から20時まで、大講義室前のホワイエに学科デスクを設け、各学科の教員・学生が、進学に関する皆さんの質問に答えます。お茶とケーキのある暖かい雰囲気です。どんな質問にも答えます。

### 理学部ガイダンスカフェ@駒場

日時：2009年12月4日(金)16時から20時まで

場所：駒場キャンパス 数理科学研究科棟 大講義室・ホワイエ

### 理学部ガイダンス

日時：2009年12月4日(金)18時から19時40分まで

場所：駒場キャンパス 数理研究科 大講義室

内容：理学部紹介、教養課程履修上の注意、卒業後の進路、パネルディスカッション「なぜ私は理学を選んだか 強み・将来性のポイント」(70分)。理学部の進学者、卒業生を囲んでキャリア選択のさいに何を考えたのか紹介します。

## あとがき

政権交代に伴い、大型プロジェクトの経費見直しなど慌ただしい。そんな中でたまたま、過去30年にわたり理学系研究科の博士輩出数などを調べる必要が生じたが、過去40年分の理学部ニュースが電子媒体としてホームページに掲載され、そこに必要な情報が網羅されているため、ひじょうに助かった。

時代をさかのぼるにつれ、現在は押しも押されぬ大家になっている研究者

の学位論文のテーマが次々に現われ、脈々とながら教育と研究の流れに感慨を深くした次第である。「理学部ニュース」に関するこの40年間の経緯は、本号の特別記事として、加藤千恵職員により詳しく報告されているので、ぜひお読みいただきたい。

そこにあるように、2001年頃に消滅しかかった紙媒体の「ニュース」は危機を乗り越え、2005年度からオールカラー化するなど、さまざまに改良を

行ってきた。そうした改革を進めつつ、毎号の編集の要となって活躍してくれたのも、また創刊号からのアーカイブをpdf化する事業を主導してくれたのも、加藤さん(9月号の表紙参照)であった。同職員がこの11月末で有期職員として5年任期を満了するにあたり、ここに彼女のひじょうに大きな貢献に対し、編集委員会および理学系の全体を代表して、厚くお礼を申し上げます。

牧島 一夫 (物理学専攻 教授)

第41巻4号

発行日：2009年11月20日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会 (e-mail: rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp)

牧島 一夫 (物理学専攻) maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

広報・科学コミュニケーション：

横山 央明 (地球惑星科学専攻) yokoyama.t@eps.s.u-tokyo.ac.jp

横山 広美 yokoyama@sp.s.u-tokyo.ac.jp

野崎 久義 (生物科学専攻) nozaki@biol.s.u-tokyo.ac.jp

HP担当：

島田 敏宏 (化学専攻) shimada@chem.s.u-tokyo.ac.jp

柴田 有 (情報システムチーム) yuu@adm.s.u-tokyo.ac.jp

斉藤 直樹 (庶務係) nsaito@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン：

加藤 千恵 (庶務係) c-kato@adm.s.u-tokyo.ac.jp

大島 智 (情報システムチーム) satoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp

印刷・・・三鈴印刷株式会社